

中3の英語 新研究のココが大切だよ！ ポイントシート⑤

「新研究のココが大切だよ！」の第5回目です。簡単にまとめているだけなので、詳しいことは新研究を熟読してくださいね。一緒に頑張っていきましょう。

命令文について 新研究 P. 44～

→ 命令文とは、相手に指示をする文の形で、「～なさい」と訳されます。主語がないのが特徴です。このポイントシート⑤では、「～なさい」と命令する文、「～してはいけない」と否定する文、「～しましょう」と相手に誘う文をまとめました。

「～なさい」と命令する文

【一般動詞の命令文】

○ You read this book.

☐ Read this book.

動詞の原形で文を始めます。

【be 動詞の命令文】

○ You are careful.

☐ Be careful.

am, is, are の原形は be



- ☆ 命令文では「主語」がなくなり、動詞の原形で文を始めます。
- ☆ 丁寧に「～してください」とお願いする際は、please を使って表現していきます。

例□ Please come here.

動詞の原形

または

Come here, please.

動詞の原形

↑ please をうしろにつけると丁寧になります

- ☆ 命令文で、次の2つの表現はすごく大切です。あわせて覚えましょう！！

例□ Come at six, and you can see the movie. <命令文 and...>

(6時に来て、そうすれば、その映画を見られます)

<～なさい、そうすれば...>

例□ Come at six, or you can't see the movie. <命令文 or...>

(6時に来て、さもないと、その映画をみられません)

<～なさい、さもないと...>

〇 問題に取り組むとき → 「～なさい」と書いてあれば、命令文でOK。

→ 「～なさい、そうすれば」と書いてあれば、命令文, and ...でOK

→ 「～なさい、さもないと」と書いてあれば、命令文, or ...でOK
(10-シ)

問題に取り組むとき、「～してはいけません」と書いてあげ、Don't を使って命令文

「～してはいけません ・ ～しないで」と否定する命令文

【一般動詞の命令文】

【be 動詞の命令文】

○ ☐ Open the door.

Don't open the door.
動詞の原形

Don't be late.
be 動詞の原形



- ☆ 否定の命令文では「**Don't + 動詞の原形**」で文を始めます。
- ☆ 「決して～してはいけない」と強い禁止を表す否定の命令文は **never** を使います。

例 □ **Never give up.** <Never + 動詞の原形～>

(決してあきらめてはいけません)

- ☆ 書き換え問題がよく出題されます。確認しておきましょう。

例 □ Don't open the door. → You mustn't open the door.

「～しましょう」と誘う文 → 問題に取り組むとき、「～しましょう」と書いてあげ、Let's ～. を使う。

○ Play soccer. → Let's play soccer.
動詞の原形



- ☆ 「～しましょう」と相手を誘う表現では「**Let's + 動詞の原形**」で表現します。
- ☆ 答え方が様々ありますので、1つずつ覚えましょう。

誘いを受けるとき (OK の場合)	○ That's good idea.	○ Sounds nice.
	○ Sounds great.	○ All right.
	○ OK.	○ Yes, let's.
誘いを断るとき	○ Sorry, ～ (理由).	
※ 断るときは、その理由をつけます。	○ No, let's not.	

- ☆ Let's ～. のように「誘う表現」は他にもたくさんあります。

- 例 □ **Shall we** play tennis?
(テニスをしましょうか)
- 例 □ **Why don't we** play tennis?
(テニスをしませんか)
- 例 □ **How about** playing tennis?
(テニスをするのはどうですか)

